古典紹介・解説

九成宮醴泉銘⑥

畠中　香風

早いもので九成宮の課題も今月号で最終回となりました。

まとめとして、①字形は縦長で胴を引き締め背勢。②波法は長く伸びやかで切れ味が良い。③全体に右上がりが強い横画。④文字の始筆、終筆、転折の角度が一定している。

欧陽詢の作品には皇甫府君碑や化度寺碑など有名な碑がありますので是非学んで九成宮との違い等を比較してみるのも大切な勉強になります。

検定に挑戦の方は、半年間学んできた成果を存分に発揮されますよう期待しています。

蘭亭序⑥

橋本　圭風

六月号から始まり十一月号で半年学んできた蘭亭序も今回で終了となります。

どうですか、どの程度理解し蘭亭序を書けるようになったでしょうか。全文で三二四字、特に神龍半印本は拓本よりわかりやすいので沢山の方が全臨をされたのではないでしょうか。又六ヶ月課題を書く中で変幻自在の筆致と文字の強弱、疎密、柔らかい曲線の豊かさ等、習得できたら素晴らしいです。何と云っても行書の最高傑作と云われる名品です。これからも折にふれて学ぶ機会もありますので、より深く勉強していきましょう。